

令和4年12月5日

対馬市議会議長 初村久藏様

産業建設常任委員会

委員長 春田新一

委員会調査報告書

会議規則第106条の規定により、委員派遣を要求し承諾されていた本委員会の調査について、その概要を同規則第110条の規定により報告します。

「調査概要」

1. 期 日 令和4年11月9日（水）～11日（金）
2. 場 所 大分県玖珠郡九重町
熊本県阿蘇郡西原村
福岡県福岡市
3. 調査事項 (1) 原木椎茸栽培（九重町）及びあか牛（西原村）の畜産について
 - ・現状と課題について
 - ・自治体等からの各種支援について(2) 対馬市福岡事務所及びよりあい処つしまの実績と今後の課題について
4. 出席者 春田委員長、入江副委員長、陶山委員、小宮委員、作元委員

5. 説明者	大分県玖珠郡九重町 菌興椎茸協同組合	帯刀 増雄 氏 東村 忠幸 係長
	熊本県阿蘇郡西原村 熊本県畜産農業協同組合 熊本県畜産農業協同組合	林田 直行 氏 松岡 俊博 課長 後藤 勇太郎 主任
	対馬市福岡事務所 対馬市福岡事務所 よりあい処つしま	木寺 俊文 所長 永留 英昭 課長補佐 黒岩 公人 店長

「調査内容」

【調査先】（1）帯刀増雄氏ほだ場（大分県玖珠郡九重町）

原木椎茸栽培について、11月9日午後2時から菌興椎茸協同組合の東村係長に同行いただき、帯刀増雄氏のほだ場の見学と意見交換を行いました。

帯刀氏は、栽培歴55年で豊後椎茸研究会元会長であります。ほだ場の標高は630メートル、平均気温は14.1度、年間降水量1,878ミリメートル、面積1.5ヘクタールで、地元より樹齢20～30年生の立ち木（1本当たり300円）を購入し、乾しいたけを主に生産され、大分県の椎茸農協に出荷しておられます。また、乾燥機5台（エビラ数合計174枚）を所有しておられます。

帯刀氏の栽培の特徴は、地元の原木を利用し、必要に応じて重機を使用することで、労力軽減を図っていること。また、集中発生を回避させたり、散水機材を使用したりし、椎茸の品質の向上に努めていることです。

意見交換で、委員から事業継続の秘訣はとの質問に、年間所得は約800万円になりますし、現在は一人で栽培していますが、人手のいる収穫時期は、アルバイトをお願いしているので続けられています、との回答でした。

また、要件等はありませんが、多くの支援事業があり、大分県は椎茸栽培の先進地であると今回の視察で考えさせられました。支援事業の一部を紹介します。

(1) 新規参入者支援事業

ほだ木造成、原木購入、生産基盤のための施設整備・機械導入に要する費用の補助

(2) しいたけ増産体制整備総合対策事業

林内作業路整備、効率化促進のための機械導入、重点施設の高度化、生産機械や施設の改修・ほだ場改良に要する費用の補助

【調査先】(2) 林田牧場 (熊本県阿蘇郡西原村)

あか牛の畜産について、11月10日午前10時30分から熊本県畜産農業協同組合の松岡生産技術課長及び後藤主任に同行いただき、林田牧場の見学と意見交換を行いました。

まず、松岡生産技術課長から林田牧場の経営概況の説明を受けました。林田牧場は家族5人経営で、褐毛和種の畜産や甘藷等の栽培を行っております。繁殖牛75頭、肥育牛100頭を飼育し令和3年度肉牛販売出荷頭数は71頭で、枝肉重量は490.3kgです。また甘藷等約3,700アールも栽培しておられます。南阿蘇地域の畜産振興策等について説明がありましたので、紹介します。

(1) 家畜の導入・自家保留牛に対する1万円から4万円の奨励金

(2) 半額程度の家畜予防接種助成

(3) 放牧集団(牧野組合関係)への助成

(4) 電気柵等鳥獣害対策への助成

(5) 畜産部会への助成

意見交換で、林田氏が後継者がいなければ、経営は難しいと思う。また、牧草等が作付される田畑が無ければ経営が成り立たない。ここは、大型機械が使用できる平野が多いので、若者も働きやすいと思う。近年では、甘藷の生産で生計が成り立つほど単価が上昇し、甘藷だけを栽培している農家も数件ある、とおっしゃいました。

【調査先】(3) 対馬市福岡事務所及びよりあい処つしま

11月10日午後5時30分からよりあい処つしまにおいて、対馬市福岡事務所及びよりあい処つしまの実績と今後の課題について調査を行いました。

対馬市福岡事務所の活動状況説明では、令和2・3年度はコロナ禍での情報発信・イベント等でしたので、イベントに関しては中止が多く活動が定まらない状況でした。令和4年度当初からは、イベントの実施状況も回復傾向にあり、よりあい処つしまの運営状況につきましても、来客数、売上ともに少しずつではありますが上昇しています。これから年末にかけて来客数を増やす取組を行っていきます、との説明を受けました。

委員から、多くの来客者に対馬の産品を美味しく召し上がっていただけるよう頑張ってください。期待をしています、との激励がありました。

今回の、現地視察調査内容は対馬市にとって、また原木椎茸生産者、あか牛の畜産者にとって大変参考になる事例であり、本委員会としても行政側の支援策を期待する所であります。

以上で、産業建設常任委員会の調査報告といたします。

①帯刀増雄氏ほだ場



②林田牧場



③よりあい処つしま

